

赤坂地区

売買状況

(土地・建物)

赤坂BIZタワー向かいのオフィスビル(低層店舗3階以上オフィス)が売買された。
また、同じ時期に溜池山王駅近くの客室44室小型ビジネスホテルの売買があった。

その後、新型コロナウイルス感染の拡大により海外からの旅行者が姿を消し、近年好調であった赤坂周辺のホテルの稼働率が一機にダウンした。

賃貸状況

大型飲食店が第一波のコロナウイルス感染により大打撃を受け、多くの居酒屋やレストランは閉店、解約と進んでしまった。

また、20坪以内の個人が営むバー・クラブ等は、公の助成金やオーナーからの賃料減額等により6月後半まで何とか継続してきたが、今月初旬から徐々に戻ってきた顧客も感染者増加で大半がキャンセルとなり、解約の方向へ向かっている。

オフィスは4月の緊急事態宣言からテレワークを経験し、オフィスの働き方に多くの変化をもたらした。
今後はオフィスの縮小移転や分散化が進む傾向にあるが、マイナス影響を受けず業績が好調な企業は拡大移転やワークスペースの向上を求めている。

いずれにしてもオフィスの求める価値観が変化し、様々な理由で今後移転が加速していくと思われる。

街の状況

5月は緊急事態宣言中、殆どの店舗は休業を余儀なくされた。
オフィスはテレワークにシフトし、人もまばらで海外旅行者の姿は皆無であった。
またホテルの稼働率も急低下し、閉鎖していたホテルもあったという。

6月の緊急事態宣言解除をしてからは、一気に人が戻り、いつものランチの賑わいを見せてくれた。
赤坂周辺の飲食店では、コロナ感染対策を行ったりテイクアウトのサイトを立ち上げ、店舗が連携して営業努力を行っている。

最近の感染者増加で、経営者は今後の方向性に苦慮している。